

市議会だより

第137号



新たに説明板が設置された日田養育館記念碑

もくじ

- 第2回定例会で審議した議案とその結果など … P 2～P 4
- 市政に反映、皆さんの声（一般質問） … P 5～P 15
- 各委員会の議案等の審査結果、議会の動き … P 16・P 17
- 次の定例会日程、編集後記など … P 18



令和3年 第2回(6月)定例会

6/10~6/29 20日間

本定例会では、条例の一部改正、令和3年度一般会計補正予算など、26件の議案について審査を行い、次のとおり決定しました。このうち議案第60号は、新型コロナウイルス感染症対策に関連し早急な対応が必要であったため、開会日（6月10日）に委員会審査を行い、同日に本会議での採決を行いました。

■本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第43号	日田市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	原案可決(全会一致)
議案第44号	日田市税条例等の一部改正について	//
議案第45号	日田市都市計画税条例の一部改正について	//
議案第46号	日田市税特別措置条例の一部改正について	//
議案第47号	日田市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	//
議案第48号	日田市総合保健福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第49号	日田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第50号	日田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第51号	日田市国民健康保険税条例の一部改正について	//
議案第52号	日田市介護保険条例の一部改正について	//
議案第53号	工事請負契約の締結について	//
議案第54号	専決処分（日田市税条例の一部を改正する条例）の承認について	原案承認(全会一致)
議案第55号	専決処分（日田市都市計画税条例の一部を改正する条例）の承認について	//
議案第56号	専決処分（令和3年度日田市一般会計補正予算（第1号））の承認について	//
議案第57号	令和3年度日田市一般会計補正予算（第2号）	修正可決(多数)
議案第58号	令和3年度日田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決(全会一致)
議案第59号	日田市手数料条例の一部改正について	//
議案第60号	令和3年度日田市一般会計補正予算（第3号）	//
議案第61号	令和3年度日田市一般会計補正予算（第4号）	//
議案第62号	日田市固定資産評価員の選任について	原案同意(全会一致)
請願第1号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出を求める請願	採 択(全会一致)
請願第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願	//
議員提出議案第1号	日田市議会議事規則の一部改正について	原案可決(全会一致)
意見書案第1号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	//
意見書案第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書	//
議員提出議案第2号	議会閉会中の各委員会における所管事務調査に関する件について	//



令和3年 第2回定例会 賛否の状況

議案番号	議決結果	賛否※1		会派名等、議員名及び賛否の別																					
		賛成	反対	市政クラブ						市民クラブ			新世ひた			日本共産党	公明党	無所属							
				財津幹雄	岩見泉哉	安達明成	梅原竜也	佐藤功	原田裕文	宮崎陽治	高倉貴子	溝口千壽	井上正一郎	梶原信幸	中島章二	飯田茂男	石橋邦彦	居川太城	三苫誠	大谷敏彰	日隈知重	松野勝美	坂本茂	坂本盛男	中野哲朗
議案第57号※2	修正動議1	否決	3	17	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	-	●	●	●	●	●	欠	●	○
	修正動議2※3	可決	10	10	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●
	修正部分以外	可決	17	3	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	●

※1 「○」は賛成、「●」は反対（不賛成）、「欠」は欠席を表します。

議長（石橋邦彦）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

※2 議案第57号は、2件の修正動議が提出され、上表の順に採決が行われました。

※3 修正動議2は、採決の結果、可否同数であったため、議長の裁決により可決となりました。

（上表では議長（石橋邦彦）の欄に“○”を記載していますが、賛否欄の数には含めていません）

・修正動議1の内容

一般会計補正予算（第2号）のうち、天ヶ瀬温泉街復興プロジェクト事業（15,228千円）の全額を減額する案

・修正動議2の内容

一般会計補正予算（第2号）のうち、天ヶ瀬温泉街復興プロジェクト事業（15,228千円）の一部（8,505千円（下記内訳の①））を減額する案

修正部分の事業内容

天ヶ瀬温泉街復興プロジェクト事業 (15,228千円の増額補正) 令和2年7月豪雨により被災した天ヶ瀬温泉街の復興を推進するため、『天ヶ瀬温泉つなぐ会議』を中心に実施する復興の取組に対して支援するもの	内訳 ①天ヶ瀬温泉まつりウィークの開催 8,505千円 ②天ヶ瀬温泉魅力フェアの実施 6,048千円 ③食べ歩き商品開発 675千円
---	---

賛否の主な討論の内容

■議案第57号

（反対討論）（原案に反対し、修正動議1に賛成）

この事業の中心は、20代から40代の未来を担う若者が、地区や各種団体からの推薦を受けて設立された「天ヶ瀬温泉つなぐ会議」であり、将来ビジョンの策定という、非常に重要な役割を期待されている。今回提案された各種イベントは、今年度策定される将来ビジョン、まちづくり戦略に基づき実施すべきであり「将来ビジョンを策定するために必要」「イベントの開催で元気づけたい」という説明では、全てのイベント経費を市の負担により行うことは納得できない。地域住民とともに、丁寧に将来ビジョンを策定できるよう、一過性的なイベントやにぎわいよりも、議論を重ねる粘り強さを持った人材を育成することを望む。その会議の本来の役割や使命は、天ヶ瀬温泉街復興へ向けた住民参加の活動を通しての広がりや、誰もがそこに参加して力を発揮するという多様性や重要性を確保することである。同じ予算を用いるならば、徹底して人材育成を推し進めるべきである。



■議案第57号

(賛成討論) (原案に賛成)

天ヶ瀬温泉街の復旧・復興に当たり、将来ビジョン策定に今回の事業成果を反映させ、被災した地域に活力を取り戻す一つの契機として取り組みたいという関係者の思いに応えることは必要である。今回の事業においては、地域住民と連携した調整が行われていない、事業費の積算根拠が不明確、既存のイベントとの比較がされていない、費用対効果を検討したものとなっていないなどの意見があったが、予算執行に当たっては会計規則に準じ、その都度精査することや天ヶ瀬温泉つなぐ会議においては、地域住民と連携した話し合いにより理解と支援を得ることを強く付言し、コロナ禍における事業実施については、再検討の余地がある企画も含まれていることから、関係住民との協議に臨み、事業規模を含め有効性を検証し、将来ビジョンの策定につなげることを期待し、原案に賛成する。

■議案第57号

(反対討論) (原案に反対し、修正動議2に賛成)

予算は市民に分かりやすく、可能な限り正確でなければならないという原則があり、財政状況の厳しい中においては、経費が過大でないか、事業が将来の住民福祉向上につながるかなどの審議が必要である。今回の天ヶ瀬温泉街復興プロジェクト事業の1,522万8千円は全額一般財源であり、当初予算に組まれた復興プランを策定する前に事業を実施しなければならない緊急性があるのか、提出された予算の積算根拠は精査されたものなのか、費用対効果の明確化、他の補助金との整合性やバランス等から、十分検討されたのかなど、議会の重要な仕事であるチェック機関という観点からすれば、今回の補正予算案への疑義は拭えないものである。しかし、新型コロナウイルス感染症を抑えるための取組、そしてワクチン接種への集団免疫が期待できる秋以降のイベントについては議会としても実施を支援し、天ヶ瀬温泉街の復興を応援したいと考える。

■議案第57号

(賛成討論) (原案に賛成)

天ヶ瀬温泉街復興の主役である地域住民とともに、未来を背負っていこうとする若者で立ち上げた天ヶ瀬温泉つなぐ会議の取組が、今後の復旧・復興のカギとなる。復興イベントの開催は、報道機関や自分たちが持つSNSネットワークにより、災害支援ボランティアや多くの支援者とつながり、天ヶ瀬温泉を応援、見守っている皆さんに、今の動きや今後の取組が伝わることで、今回の事業成果を反映させた復旧復興に向けての将来ビジョンが策定でき、被災した地域に活力を取り戻す契機となる。天ヶ瀬温泉の目指す方向性について、必要なものを具体的にしていくための実証実験という一面もあり、この検証結果、成果を将来ビジョンの策定に反映させていこうとするものであり、一過性のイベントではなく、復旧・復興に向けた次の展開につながると考える。復旧・復興に向けて踏み出そうとする地域や若者、それをバックアップしようとする市や県行政の動きを、議会が止めるべきではない。



市政に反映 皆さんの声



令和3年第2回定例会では、6月16、17、18日の3日間にわたり一般質問が行われ、20人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

【一般質問】

中小・小規模事業者への 支援策の拡充について



日本共産党
大谷 敏彰 議員

質問 市の中小・小規模事業者の支援策では、対象にならない業者（借家で手間受大工など）もいる。玖珠町の支援事業のように、売上の減少率に応じた支援は考えなかったのか伺う。

部長 一つの方策ではあるが、個々の事業所の売り上げの減少幅を想定した予算編成は難しい。
質問 花月川の河川整備計画の地元説明会や内水氾濫対策の今年度の取組について伺う。

部長 地元説明会は重要であり7月中には開催する。工事は道路の付け替えを先行し、河川拡幅等は原則下流から行う。移転について関係者の意向確認を国と連携しながら調整し、安心して住める地域にしていきたい。
部長 内水氾濫対策の浸水シミュレーションは5月に契約をして令和4年3月までの工期で委託。日ノ出、天神、上手地区106haで水路と排水能力を調査し、対策をシミュレーションする。

質問 就学前の児童に行う3種混合とポリオのワクチンの任意接種に対する助成について伺う。
部長 国で審議されているので、その動向を見極めて判断する。



議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆様のお越しをお待ちしています。





【一般質問】

日田市手話言語条例制定に向けて動き出す！



市民クラブ 中島 章二 議員

質問 日田市手話言語条例を制定する考えはあるのか伺う。

部長 条例の内容を関係団体と協議していく。

質問 手話言語条例制定について、市長の考えを伺う。

市長 こういうものが必要だと思っている。十分なコミュニケーションが取れないと意思の疎通もできない。また、聴覚障がい者に対する理解を広める必要がある。実行力があり持続可能なものを、知恵を出し合いながら作っていかねばと考えている。

質問 総合的な子ども支援拠点の有効性について教育委員会の考え方を伺う。

教育長 学校だけでは解決できない問題も多く、総合的な子ども支援拠点ができれば、スムーズな対応により早期の問題解決が可能となる。また、教職員の負担軽減にもつながると考えている。



質問 今後、放課後の子どもの居場所の運営体制をどのように考えていくか。

市長 現場運営者の皆さん方の意見を聞きながら決めていければと思っている。

【一般質問】

非常に大きい
済生会日田病院の
存在意義！



無所属 中野 哲朗 議員

質問 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う医療崩壊阻止のため、市は、どう対応したか。

部長 市報、ホームページ、SNS、動画配信を活用し、全世帯に感染予防を呼び掛けた。

質問 済生会日田病院が新型コロナウイルスに対応できたのは、地域唯一の公的病院としての役割と機能を維持したことが最大の要因だ。開院30年を迎えた同病院の存在意義をどう認識しているか。

市長 多くの役割を担っており、存在意義は、非常に大きい。特に感染者急増時、迅速に対応していただき、深く感謝している。今後も、必要な支援を行いながら、地域医療を取り巻く課題の解決に向け、しっかり連携して取り組みたい。



済生会日田病院

質問 公共下水道（旧日田市）の整備状況を伺う。

局長 令和元年度の石井地区を最後に整備完了。普及率は70・9%、水洗化率は90・6%。

質問 公共下水道の整備区域内での接続は任意か、義務か。

局長 下水道法の規定に基づく義務である。他市の接続促進の仕組みを参考に、今後の水洗化率の向上に取り組みたい。



【一般質問】

水郷テレビの民営化は、利用者にわかりやすく、丁寧な対応を



市政クラブ 安達 明成 議員

質問 水郷テレビの民営化のスケジュールについて伺う。

部長 9月議会に関連条例の改廃議案を提案し、協定書案の説明を行う予定。利用者説明会を開催し、令和4年3月末の公設民営化を目指している。

質問 利用者に対する説明が分かりにくいのではないか。

部長 秋に開催する第3回説明会では、資料の作り方を工夫し、個人ごとに説明し、申し込み手続も丁寧に対応する。

質問 民営化後の料金と減免は、

部長 テレビ地上波放送は、民営化後5年間は現行と同額の2090円とし、生活保護世帯などが対象の減免制度は、5年間は助成制度として継続する。

質問 新型コロナウイルス感染症

症対策（中小企業支援事業）の状況と今後の取組について伺う。

部長 緊急支援事業1億6760万円、事業継続支援事業1億1233万円となっている。6月追加補正の2億8千万円についても、迅速に受付を開始し、早く支給できるよう取り組む。

質問 今後の経済再生策についての考えを伺う。

市長 ワクチン接種の状況により、ひたPay等を利用した電子商品券、GOTOキャンペーンなどの計画も立てていきたい。



【一般質問】

災害時、誰もが助かるための福祉施策を求め



市民クラブ 梶原 信幸 議員

質問 災害時の活用が見込まれる要援護者登録台帳の個人情報共有の課題について考えを伺う。

部長 登録申請時に、民生委員、自治会、自主防災組織など支援関係者が要配慮者等の個人情報共有することに、申請者から事前に同意を得ているので、関係者間で必要な情報共有が図られていると考える。

質問 医療的ケア児など日常的に電気式の医療機器が必要な要電源重度障がい者に対し、非常用電源確保のための補助を求め

部長 在宅生活を望む対象者が多くなった現状や近年の豪雨災害の状況を踏まえ、支援ができるよう確実に進めたい。

JR日田彦山線沿線地域の振興

策について

質問 沿線地域の振興ビジョン作成にあたり、女性や子どもなどからの意見を反映させる必要があるのではないか。

部長 ワーキンググループで幅広い層からの意見を聞くことが必要と考えている。特に子どもたちの意見も何らかの方法で聞き取り作業に反映したい。

質問 この他、国・県道整備に向けた対策について質問した。



非常用電源機器



【一般質問】

まちづくりの主体である
市民の多様性・ジェンダー
平等について



市政クラブ
高倉 貴子 議員

質問 昨年度末、第3期日田市男女共同参画基本計画が策定された。子育て世代や多様な人材が社会全体を支え活躍するとう考え方や配慮が審議会構成になされていたか。

部長 審議会は女性割合60%。開催日時は、子育て世代に配慮し、夜間や週末の開催は避け、平日の昼間に開催した。

質問 市役所の職場環境はどうか。

部長 仕事と家庭を両立できるように日田市特定事業主行動計画を策定。女性管理職の登用、研修、人材育成に取り組んでいる。

質問 なにより本市議会には女性が4.5%ではなく、1名しかいない、そう明記すべきだった。

部長 審議会では、女性の政治

参加は議論されなかった。

質問 政策策定へ向け唯一の女性部長が意識されたことを問う。

部長 特にない。

質問 残念だ。審議会や議会に女性の視点が加わることで議論の多様化も期待できる。今後のジェンダー平等には市全体での学習や教育が欠かせない。行政内部の受け皿づくりが端緒である。

ジェンダーギャップ指数(2021) 上位国及び主な国の順位				
順位	国名	値	前年値	前年からの 順位変動
1	アイスランド	0.892	0.877	-
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.781	-1
30	米 国	0.763	0.724	23
63	イタリヤ	0.721	0.707	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	-
87	ベトナム	0.701	0.700	-
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓 国	0.687	0.672	6
107	中 国	0.682	0.676	-1
120	日 本	0.656	0.652	1

【一般質問】

新型コロナウイルス
感染症の影響に対する
取組について



市政クラブ
宮崎 陽治 議員

質問 3月定例会で市独自のガイドライン策定を検討できないか質問した。今も現行のガイドラインで十分であると考えているか。

部長 国が認証制度をつくり、感染防止対策に取り組むよう通知が出ている。この取組を進めていきたい。

質問 現行のガイドラインの運用について、協議、検証の状況を伺う。

部長 検証はしていない。そういった知見も備えていない。

質問 そこを検証して次の対策をとる。それが自治体を預かるものとして取るべきことではないか。

部長 認証制度ができたので、認証を受けていただき感染防止

に取り組んでいただきたい。

質問 市民からの提案である市独自のガイドライン策定は検討はせず、国からの第三者認証制度はすんなり受け入れる。市はどちらを向いて仕事をしているのかと受け止められないか。

部長 専門家が審査基準をつくらせている。それを守っていたら、く方がお店も安心して取組ができると思っている。





【一般質問】

市内の景気動向と
経済対策の基本的な考え



新世ひた
三苦 誠 議員

質問 コロナ禍における日田市
内の景気動向・景況感を伺う。

部長 景況感調査においても依
然として低水準で推移している。
一部には持ち直しの動きもみら
れるが、総じて厳しい経営状況
が続いている。

質問 景気浮揚に向けた経済対
策の考えを伺う。

部長 新型コロナウイルス感染
症の収束は予測できない状況に
あるが、希望者へのワクチン接
種が10月に終了すれば新たな局
面を迎えると考ええる。市とし
て、冷え込んだ市内消費の喚起
と需要拡大につながる施策を行
い、経済の活性化を図る。

質問 経済活性化の具体的な取
組があるのか。

部長 市内の消費喚起に加えて、

観光面でも人を呼び込んで景気
浮揚を図りたい。

水郷テレビ公設民営化後の料金

質問 令和4年度から水郷テレ
ビをKCVに移管した場合の料
金設定の考え方を伺う。

部長 料金設定については、市
とKCVが協議を行うことを協
定書に盛り込む。



【一般質問】

J A 出資型農業法人の
取組



市民クラブ
溝口 千壽 議員

質問 農業センサスについて、
2020年度調査で、全国で農
業経営体は107万6千経営体
と5年前に比べ、30万2千経営
体減少している。日田市の現状
はどうなっているか伺う。

部長 農業経営体の数は、5年
前と比べ2042経営体から1
511経営体と531の経営体
が減少。減少率も26%と県と同
程度になっている。県では、法
人経営体の減少など、他県と比
較し構造改革が遅れている。こ
れらの危機的状況からの脱出と
農業の再生を図るため、今年3
月に大分県農業非常事態宣言が
発出されている。

質問 日田市農業振興ビジョン
にある「JA出資型農業法人」
の設立の現在の取組状況を伺う。

部長 JA出資型農業法人は、
地域農業の振興と農村の活性化
をサポートする拠点として、関
係機関からなる協議会を立上げ、
目指す方向性などについて、先
進事例の調査研究を行い進めて
きたが、経営規模や運営内容の
違いなどで、現時点では合意形
成は図られていない。





【一般質問】

小中学校の教員や市職員の業務の平準化を



市政クラブ 財津 幹雄 議員

質問 小中学校の教員の時間外勤務はどうか。

教育次長 小学校の平均では平成30年が40時間、令和元年が41時間、令和2年は39時間であり、中学校では、それぞれ66時間、47時間、45時間となっている。

質問 それは平均的な数字とみるが、人によってはそれ以上の勤務もあるのではないか。

教育次長 小学校では平成30年は80時間超えの職員が20・7%いたが令和元年には27%、2年には21%と減っている。中学校でも23%あったが、7.2%、3.6%と減っている。100時間超えの職員もそれぞれ減ってきている。

質問 学校にしても市役所にしても特定の部署、特定の人に業

務が集中することが問題である。その対策や、健康管理はどうしているか。

部長 災害や今回の感染症、ワクチン接種対応などについて、適宜担当部署への増員を実施している。また、健康管理や、やる気を引き出すことは管理職の役目と考えている。様々な工夫で信頼関係を築くことが大事だ。



元気な職員が働く日田市役所

【一般質問】

新型コロナウイルスワクチン接種と今後の接種計画は



公明党 松野 勝美 議員

質問 日田市でも希望者へのワクチン接種が円滑に進んでいると思うが、今後の計画を伺う。

部長 国からのワクチン供給状況にもよるが、希望者への接種は10月末までに終わるよう計画している。

質問 日田市では、キャンセル等で余ったワクチンをどのように有効活用していくか。

部長 介護施設の従事者の方に接種をしている。今後は警察署員や集団接種会場のスタッフ、社会福祉施設で働く方々などに優先順位をつけながら、余ったワクチンについてはロスのないようにしっかりと使用していく。

質問 地区公民館から集団接種会場までの送迎を行っているが、自宅から地区公民館までの移動

が困難なため接種を断念する状況がある。どのように対応するか。

部長 希望があり安全が確保できれば、途中のバス停等での乗り降りにも対応している。解決できるものは対応していくので、窓口相談してほしい。

質問 この他、所有者不明土地問題、農業振興、有害鳥獣対策などについて質問した。





【一般質問】

有害鳥獣対策について



市政クラブ 岩見 泉哉 議員

質問 植林後の鹿対策としての鹿ネット設置は、自己負担が大きいため、補助率を上げて支援することが重要ではないか。

部長 鹿防止用の防護柵は95%の補助率になっている。

質問 他市でのドローンを使った猟の実証実験の事例は、猟の人員削減とハンターの高齢化対策等になるのではないか。

部長 効果が確認できるものは捕獲班と相談したい。

質問 市内で出没しているサルの対応について伺う。

部長 捕獲用罠を3か所に設置し、注意喚起を呼び掛けている。

森林環境譲与税の活用について

質問 譲与税を活用した森林整備への補助は、植え付けや下刈りの人件費まで含まれているか。



また、労務者への賃金の支払いを確認しているか。

部長 国が定める標準経費を基に算出しており、労務者の金額も含まれる。賃金の支払いについては調査していない。

質問 他市で九電グループと協定を結び、支障木伐採を行う事例があるが日田市は考えないか。

部長 九電グループとは協議を重ねている。電線沿いの支障木の伐採に向けた協議をしていく。

【一般質問】

申請手続きの簡略化について
対応を求める！



新世ひた 居川 太城 議員

質問 家族・親類が亡くなった際の各種行政手続きは、遺族の心痛は計り知れない中、非常に複雑であり、大きな負担となる。市として窓口の一元化や負担軽減を図れないか伺う。

部長 窓口に来た際、スムーズに案内ができるよう最初に訪れる窓口を決めるなど、可能な部分から遺族の負担軽減に向けた取組を前向きに進めていく。

質問 他市事例として「お悔やみハンドブック」のような遺族向けの手続をまとめた冊子の作成を検討できないか伺う。

部長 他市を参考にしながら日田市版の作成に向けて取り組んでいきたい。

災害時の避難基準について

質問 以前の一般質問で、災害

時において児童福祉施設等に対し、避難を呼び掛ける際の基準について取り上げた。法改正もされたので再度検討はできないか伺う。

部長 ハザードマップを活用しながら、施設、関係機関、市の危機管理の部署とも統一した基準を設け、その中で必要な助言や指導を検討していきたい。



市役所1階の総合案内窓口



【一般質問】

空き家対策と企業誘致、
放課後児童クラブの運営



市政クラブ
佐藤 功 議員

空き家対策

質問 空き家対策条例を設け、困難な事例等に対応する根拠とすることを考えないか。

市長 将来負担と不安、そして個人と行政各々の責任を議論する必要はあると思う。

企業誘致

質問 民間企業のノウハウを生かして市の施設を再生し、企業誘致につなげてはどうか。

市長 施設ごとに課題はあるが利活用には良い制度がある。観光開発という視点からはよい判断ができるとも感じている。

質問 進出企業への補助金等優遇措置については小規模な計画にも対象を広げてはどうか。

部長 生産性の向上や新規雇用が生まれるということがあれば

考えていきたい。

放課後児童クラブの運営

質問 保護者を中心とした運営委員会に任せる仕組みは具体的に動いて変える時期ではないか。

市長 会計処理の一本化という問題から解決策を考えなければならぬ状況だと認識している。

質問 運営アドバイザー制度の導入やICT環境の整備についてはどのように考えているか。

部長 支援員の負担軽減やスキルアップの観点から併せて導入を検討してみたい。



【一般質問】

小野川の災害復旧に併せた
多自然型川づくりについて



市民クラブ
井上正一郎 議員

質問 平成29年九州北部豪雨災害や、昨年の7月の豪雨災害からの小野地区河川の災害復旧の進捗状況について伺う。

部長 県河川の小野川の災害復旧工事は、全体で8件、全ての工事発注を終え、うち1件は工事完了。残る7件については今年度末までの完成を目指し工事を行っている。また、小野川の浚渫については、工事用道路施工のために搬入した土砂と併せて局所的な堆積土砂を、復旧工事の完成に併せ順次撤去を行う予定である。

質問 河川の浚渫については、川床を一樣に平らにして三方張りの川床にするのではなく、自然石やよどみを作り、増水した水の勢いを減速する自然環境に

配慮した多自然型川づくりの復旧が必要と思うが考えを伺う。

部長 大分県も河川の復旧の際は、環境に配慮した多自然型川づくりの考えもあり十分配慮した復旧を行うとのことである。

質問 この他、公共施設等総合管理計画の進捗状況、小中学校における新型コロナウイルス感染症発生時の対応について質問した。



小野川の災害復旧現場



【一般質問】

認知症高齢者施策の
課題と推進



新世ひた
飯田 茂男 議員

質問 3月に高齢者保健福祉計画第8期計画が策定されたが、高齢者の認知症の現状を伺う。

部長 65歳以上の高齢者人口は、令和元年度末で2万2496人、高齢化率34・96%となり、要介護認定調査から軽度の「認A」以上に該当する認知症高齢者数は、2120人と把握している。実際はこれよりも多いと考えており、令和7年には、約4500人に増加すると見込まれている。

質問 今後の認知症施策の課題と、その推進について伺う。

部長 課題は、認知症の病気に對する市民への周知啓発や地域包括支援センター等に相談があった時には、既に認知症が重症化していること、介護者や地域

で支援する方の負担が大きいとがある。市民に認知症という病気を正しく理解して頂くための普及啓発や早期受診、進行を遅らせる早期治療につなぐ体制の強化を図る。

質問 この他、上津江地域の福祉の充実に向けた地域包括支援センター設置の提案や、天瀬農業公園の今後について質問した。



ホームページのご案内

<http://www.city.hita.oita.jp/shigikai/index.html>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。（会議録には一般質問の全部が含まれます）

6月定例会の会議録は、9月上旬から閲覧することができます。



意見募集

ひた市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。

○FAX 22-8249

○メール gikai@city.hita.oita.jp





【一般質問】

いっせい休校で
教育格差拡大

質問 新型コロナウイルス感染症による全国いっせい休校で、学力の低かった子どもほど勉強時間が減っている。子どもの学びを保障する取組を伺う。

教育長 今年1月の学力調査で、重要語句を覚えることや基本的な計算問題において全国の正答率を下回る。2学期末までに学習内容の遅れを取り戻すことに重点が置かれ、用語や計算の定着が不十分だった。3月末までに休み時間、放課後、朝自習を使って個別学習や補充を行うよう各学校に指導した。

質問 文部科学省は、小中学校の教育課程の見直しも含めた特別を認める通知を出している。教科書の中で関連する単元の統合や単元で扱う指導事項を絞り、

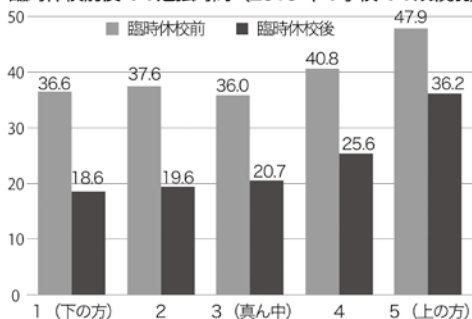


日本共産党
日隈 知重 議員

授業を見直すべきではないか。
教育長 4月の県の学力調査、5月の全国の学力調査の結果を分析し、個別の指導を行う。

質問 この他、いっせい休校による子どもの心身・健康の状況、コロナ禍の保育園、放課後児童クラブの課題、水郷テレビ民営化の問題を質問した。

臨時休校前後での勉強時間 (2019年の学校での成績別)



【一般質問】

日田市へ移住者が
増加している要因は何か

質問 移住者増加の要因と事業全体の検証結果を伺う。

部長 平成28年度に移住・定住のワンストップ窓口を設置し、移住についての情報発信や相談体制を強化してきた。毎年、新しい制度を導入し、相談者の希望に応じたオーダーメイドでの移住体験を提案するなど補助事業とソフト事業の両面からも移住・定住への取組を強化してきた。事業検証による事業内容の見直し、強化が移住者の増加につながっている。

質問 これまでの取組から見え

てきた課題は何か。
部長 思うような移住ができていない方がいることが課題である。移住後の生活イメージを持ち、安心して移住してもらうこ



公明党
坂本 茂 議員

とが重要である。今年度からは移住前から移住後まで一貫したサポートを行い、移住・定住が促進できるように体制を整えた。
質問 日田市国土強靱化地域計画は、市民が安心して安全に暮らせるように、市の総合計画に基づき、具体的に見直ししながら進めていくという認識でよいか。
部長 リスクシナリオを想定し、市の復旧・復興計画と併せて防災に取り組みという認識で行っている。





【一般質問】

4種混合ワクチン接種
5回目を無償に！



市政クラブ
梅原 竜也 議員

質問 日田市は、4種混合ワクチン（3種混合+ポリオ）の接種4回目までを無償としているが、豊後高田市や竹田市、津久見市は5回目も無償としている。

この4種混合は日田市では1歳から2歳までの間にほとんどの乳幼児が4回の接種を終了している。4種混合ワクチンで得られた百日ぜきやポリオ等の免疫は、小学生位から低下傾向である。日田市においては5回目の接種希望者は、全額自己負担となっている。このことについて考えを伺う。

部長 国の厚生科学審議会において追加接種の必要性、年齢等の議論が進んでいる状況であり審議会の動向を見極めて慎重に考えていく。

質問 4種混合の5回目の無償化または、インフルエンザワクチン接種のような助成はできないか伺う。

市長 審議会において5回目のワクチン接種の影響に関する検証を行っており、審議会の結論次第と考える。

質問 この他、ヤングケアラー、新型コロナウイルスワクチン接種、ウツドシヨック、畜産施設環境対策事業について質問した。



【一般質問】

高校生までの
医療費無償化について



市政クラブ
原田 裕文 議員

質問 高校生までの医療費無償化には4千万円程度の財源が必要になると思うが、事業化できないか伺う。

部長 子ども医療費助成事業や子どもインフルエンザ予防接種の助成等に億を超える金額を要している。今ある事業を確実に継続することが大事である。

質問 高校生までの医療費無償化は、国が少子化対策の政策で進めることが責務で、まして国庫補助の減額ペナルティーを科すことは遺憾であり、市長会等で国に要望ができないか伺う。

市長 現在、要望を提出しており、今後も進めていく。

公共施設設計監理業務について

質問 ハコモノ公共施設的设计委託料に民間とのそごがあるが、

聞き取り調査等はできないか。

部長 希望があれば、設計業者の意見を伺いたい。

質問 基本設計の市の取組と現状について伺う。

部長 過去に、基本設計をしながら進んだ案件があり、今後基本設計の重要性を市全体で共有し、公共施設の目的を達成されるよう取り組んでいく。

質問 この他、公共施設等総合管理計画の取組について質問した。





報告

各委員会の
議案等の審査結果

● 総務環境委員会 ●

議案第57号 日田市一般会計
補正予算(第2号) 否決

● 天ヶ瀬温泉街復興プロジェクト事業

この事業は、昨年7月の記録的豪雨により被災した天ヶ瀬温泉街の復興を推進するため、地域住民が自ら、町の将来像を考え、その実現に取り組み組織として設立した「天ヶ瀬温泉つなぐ会議」において、復興に向けた取組の一つとして計画された事業について、市として支援するものです。

事業の概要は、天ヶ瀬温泉街の復興は、川との共存が切り離せないことから、主に地域住民を対象として8月に①「川」をテーマとしたイベント850万5千円。②秋から冬にかけて「

灯り」をテーマとした取組やマルシェの開催604万8千円。
③食べ歩き商品開発67万5千円の合計1522万8千円です。

委員からは、事業費の全額を減額する案と、①を減額する一部修正案が提出されました。

全額を減額する理由は「将来ビジョン策定とイベント実施は順序が逆」「費用対効果が明確に示されていない」などであり、一部減額する理由は、「コロナ禍で時期尚早」「秋からの取組は時間があり、住民が関わることで、将来ビジョンが練り上げられる」などでした。

委員会(委員長を除く6名)での採決の結果、全額を減額する案は、賛成3名で、可否同数により委員長裁決で否決。次に、一部減額案については賛成1名で否決。最後に原案について採決を行った結果、賛成2名となり、議案第57号のうち、総務環境委員会に審査の付託を受けた部分は否決となりました。

● 教育福祉委員会 ●

生活支援に関する
各補正予算を可決

● 子育て世帯生活支援特別給付事業

この事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て負担の増加や収入の減少が生じているひとり親世帯などを支援するため、特別給付金を支給するものです。

事業実施においては、事業の周知が届かず、受給対象の方が受給できない場合も想定されることから、この事業の情報が隅々まで行き届くよう、発信方法を工夫することを要望しました。

● 生活困窮者自立支援事業

この事業は、国の緊急小口資金等の借入金が限度額に達し、追加の貸付を利用できない生活困窮世帯に対して、自立支援金を支給するものです。しかし、

支援金の支給申請が本年8月末までとなっていることから、困窮者の生活に不安が生じないよう、9月以降も申請できるための制度改正を国に働きかけるよう要望しました。

● 日田市国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険の健全な運営の確保及び被保険者の税負担に配慮し、国民健康保険税の税率等の改定を行うほか、新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免の対象期間を延長するもので、他の議案とともに原案どおり可決しました。





●産業建設委員会●

コロナ禍における中小・小規模事業者等への緊急支援を決定

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、本定例会では中小・小規模事業者等への緊急支援に係る予算提案がありました。早急な対応が必要であるため、通常の補正予算とは切り離し、開会日に委員会審査を行うなど、可能な限りの対応を行ったところです。

審査では、執行部より事業内容や市内経済の状況説明を受け、委員からは支援の対象範囲を確認するなどの質疑が行われました。これらの支援は緊急的なものであることから、申請に対しては速やかに給付・補助へつなげるよう要望しました。緊急の支援として決定した事業は、以下の5事業です。
・中小企業者等事業継続支援事業（1億6190万7千円）

・中小企業者等感染症防止対策支援事業（6173万6千円）

・飲食店取引事業者等支援事業（1133万9千円）

・新型コロナウイルス感染症緊急対策特別資金利子補給事業（2198万1千円）

・宿泊施設受入環境整備緊急支援事業（1887万5千円）

また、通常の補正予算においても新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた内容の事業が提案され、民間が行うテレワークのためのサテライトオフィス整備への補助や、低迷する観光業への対応として誘客促進のためのイベント実施に係る予算を決定しました。



議会の動き

「新型コロナウイルス感染症対策の拡充を求める要望書」を提出しました

日田市議会は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中小・小規模事業者等の経営や市内医療体制が厳しい状況であることから、感染拡大を防止し、市民の生命と健康及び生活を守るためにはさらなる対策が急務として、去る5月28日、市長へ以下の事項について要望書を提出しました。

（要望項目の概要）

- 1 感染防止対策について
 - ◆ 抗原検査センターの設置
 - ◆ PCR検査費用の助成
 - ◆ 安心して速やかにワクチン接種できる体制の構築
 - ◆ 中小事業者、医療・介護施設等への感染症対策支援
 - ◆ 災害時の避難所での感染防止対策
- 2 経済対策について
 - ◆ 中小・小規模事業者への事業継続支援
 - ◆ 地域経済活性化策を含めたワクチン接種率向上の施策
- 3 生活支援について
 - ◆ 相談窓口の強化及び各種支援制度の周知徹底
 - ◆ 医療体制について
 - ◆ 病床数の確保などについて
- 4 医療体制についての協議
 - ◆ 病床数の確保などについて
 - ◆ 県の医師会との協議

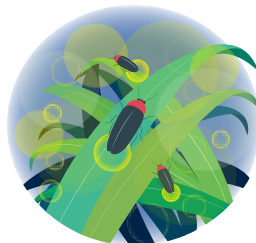




日田市固定資産評価員の
選任

次の方を選任することに同意
しました。

朝倉 博幸 氏 (北友田1)



公職選挙法(寄附行為)に関するQ&A

虚礼廃止にご理解とご協力を!

- Q** 議員が、選挙区内の初盆参りにおいて、ご仏前や線香をお供えすることはできますか。
- A** 親族(6親等内(またいとこ・はとこ)の血族、配偶者及び3親等内(おじ・おば・おい・めい)の姻族)に対して行う場合を除いて、寄附に当たりますので禁止されています。
- Q** 議員が、暑中見舞いや残暑見舞いを選挙区内の市民に対して出すことは許されますか。
- A** 親族に対して行う場合及び答礼のための自筆によるものを除いて、禁止されています。例えば、パソコン等による裏面印刷は、自筆によるものと認められませんので禁止されています。さらに、署名のみ自筆したもの、または、口述して他人に代筆させたものも自筆とは認められません。

この他、議員が、各種総会や地区運動会などで寸志・ご祝儀やお酒を出すこと、親族以外へ贈るお中元・お歳暮・病気見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。

第3回(9月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

8月31日(火)	本会議(議案説明)
9月 7日(火)	} 本会議(一般質問)
~	
9日(木)	} 本会議(議案質疑)
13日(月)	
14日(火)	} 委員会(議案審査)
~	
16日(木)	} 本会議(討論・採決)
21日(火)	

本会議のテレビ中継

一般質問は、水郷TV(市情報センター)及びKCVコミュニケーションズで生中継し、後日、録画放映も行っていますので、是非ご視聴ください。なお、閉会日についても後日録画放映を行っています。

編集後記

「議会だより」が届けるものは、議会の傍聴やテレビ中継では見えにくい、委員会での審議内容や議会の取組などです。

新型コロナウイルス感染症対策や度重なる災害からの復旧復興及び今後の防災対策はもちろん、議会としては、より身近な地域課題へ寄り添い、行政監視と政策立案を重ねていかなければなりません。

昨年度は議会報告会も開催できませんでした。だからこそ本紙では、より分かりやすく丁寧な情報発信を心がけていきます。議会の様子が少しでも伝われば幸いです。

編集委員会

(高倉貴子)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 高倉 貴子 |
| 副委員長 | 三苫 誠 |
| 委員 | 大谷 敏彰 |
| | 坂本 茂 |
| | 中島 章二 |



◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎08214)へ。市議会だよりは、環境に優しい「植物油インク」を使用しています。

